

		異常確認の有無	工事との関連性	対策の検討
目視観察結果	目視観察の結果、工事に伴う異常は確認されなかった。			
	全般結果	基本・補助監視地点 基準値:SS=7mg/l ・基準値を超える値は観測されなかった。 工事現場周辺監視地点 基準値 St.5～7:SS=7mg/l St.8～13、St.17～20: SS=11mg/l ・St.17において、基準値を超える値が観測された。 その他の監視地点 基準値:SS=11mg/l ・St.14 = 21回(12～33mg/l)、St.15 = 4回(13、14mg/l) 流入水路部 ・SS = 11mg/lを超えた回数: St.A = 37回(12～91mg/l)、St.21 = 37回(12～97mg/l)、St.22 = 43回(12～58mg/l)	・対象期間を通して、工事現場周辺(St.5～13、17～20)から工事に由来すると考えられる基準値を超えた濁りは観測されなかった。 ・観測された濁りは、波浪や低潮位時における底質の巻き上げ、降雨による流入水路からの濁水の流入などが影響していると考えられる。	
水質調査結果	詳細結果	基本・補助監視地点 ・基準値を超える値は観測されなかった。 工事現場周辺監視地点 ・St.17では4日の午前、10日午後に基準値を超えた値が観測された。 その他の監視地点 ・St.14では1～6日、10、11日、16～23日、30日に基準値を超えた値が観測された。 ・St.15では13日、20日、28日、29日に基準値を超えた値が観測された。 流入水路部 ・St.Aでは2～5日、8～30日に11mg/lを超えた値が観測された ・St.21で1～5日、7～13日、15～18日、21～30日に11mg/lを超えた値が観測された。 ・St.22で1～7日、9～13日、15～22日、24～30日に11mg/lを超えた値が観測された。	・基準値を超えた調査日に工事を行われていない。観測された濁りは台風の強風・波浪などによる底質の巻き上げなどが影響していると考えられる。 ・工事現場周辺では工事に由来すると考えられる濁りは観測されていないため、降雨による流入水路からの濁水の流入、波浪や低潮位時における底質の巻き上げなどが影響していると考えられる。 ・流入水路からの濁水の流入や波浪による底質の巻き上げなどが影響していると考えられる。	・特に無し
	生物監視調査	モニタリング調査結果は別添の資料参照		
	その他	・土嚢型汚濁防止膜設置及び撤去: 1, 7～9, 12～16, 28, 29日(合計11日) ・仮設橋梁石材投入: 16, 21～23日(合計4日) ・海上汚濁防止膜設置及び撤去: 13～16, 19～24, 26, 28～30日(合計14日) ・綱矢板打設: 7～9, 12～14, 16, 19～23, 26～28日(合計15日) ・海上石材投入: 22, 23, 26～28日(合計5日) ・1～6日及び10～11日、30日: 強風のため海上調査地点の濁り監視調査休止(石材投入や綱矢板打設などの工事作業も休止)		